

	金沢大学 保健系分野（看護学・医療技術学、学際・特定）
学部・研究科名	<p>医薬保健学域保健学類</p> <p>看護学専攻（第1年次：80名、第3年次：10名）</p> <p>放射線技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>検査技術科学専攻（第1年次：40名、第3年次：5名）</p> <p>理学療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>作業療法学専攻（第1年次：20名、第3年次：5名）</p> <p>医薬保健学総合研究科保健学専攻（M：70名、D：25名）</p> <p>（看護科学領域、医療科学領域、リハビリテーション科学領域の合計）</p>
沿革・設置目的	<p>金沢大学医学部附属看護学校、附属診療エックス線技師学校、附属助産婦学校、附属衛生検査技師学校を経て金沢大学医療技術短期大学部が設置された後、平成7年、看護学、放射線技術科学、検査技術科学、リハビリテーション科学等に関する教育・研究を行うことを目的とした医学部保健学科として設置された。</p> <p>昭和24年（1949年） 金沢大学設置と同時に看護学校設置（昭和26年（1951年）医学部附属看護学校に改称）</p> <p>昭和31年（1956年） 医学部附属診療エックス線技師学校設置（昭和44年（1969年）診療放射線技師学校に改組）</p> <p>昭和33年（1958年） 医学部附属助産婦学校設置</p> <p>昭和40年（1965年） 医学部附属衛生検査技師学校設置</p> <p>昭和47年（1972年） 金沢大学医療技術短期大学部設置</p> <p>平成7年（1995年） <u>医学部保健学科設置（平成20年（2008年）医薬保健学域保健学類に改組）</u></p> <p>平成12年（2000年） 大学院医学系研究科保健学専攻（修士課程）設置（平成14年（2002年）に博士後期課程を設置、平成24年（2012年）医薬保健学総合研究科に改組）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 金沢大学の基本理念「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」に基づき、豊かな人間性と、常に進歩する高度な医療技術に対応可能な研究的視点を持ち、生涯に渡って学修する能力を持った高度専門医療人を育成する。</p> <p>○ 大学院では、医療の現場における課題を発見・解決し、新しい医療技術を開発できる研究力を備えた高度専門職業人を丁寧な指導方法により養成する。また、医療現場における調和の取れた幅広い学識と高度な研究能力を備えた保健学に係る研究者及び教育者を養成する。</p>

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ 5 専攻を持つ特性をいかしながら、専攻横断型の体制に加え、医学・薬学・理工学系と融合し、新しい保健学研究を積極的に推進する。○ 東アジアを中心に世界各地の諸課題に対する共同研究を推進するとともに、留学生の受入れ等により、国際貢献に係る取組を強化する。
自治体、地域の企業などと「地域連携に基づく健康増進活動」を推進し、地域に貢献する。 |
|--|--|